

令和2年度  
第1回高齢者施設リーダー育成研修

高齢者施設へ  
感染症を持ち込まない対策

2020年8月4日(火)  
済生会千里病院・済生会吹田病院  
感染管理認定看護師  
橋本渚・藤本憲明

# **COVID-19・感染症を持ち込まない**

## [内容]

- 1. 高齢者施設にCOVID-19や感染症を持ち込む感染経路**
- 2. 職員の健康管理**
- 3. デイサービスの受け入れ**
- 4. 入居者の健康管理**

# なぜ、感染症が施設に入ってくるのか

高齢者施設 = 生活の場所

施設内で過ごされる利用者が多い

Q: 病原体(細菌やウイルス)はどこから発生する?

A: 施設の外から誰かに取り付いてやってくる



職員



外部業者



面会者

# もう一つ大事な感染経路

デイケアやショートステイの利用者  
自宅へ一時外泊等した利用者



自宅で家族や外出先で感染症をもらう

→施設へ来てから発症→感染拡大



# 高齢者施設へ持ち込まないためには

職員・業者  
感染対策

面会者  
感染対策

一時利用者  
感染対策

発症者の  
早期発見

4つの対策を  
実践することが重要

# 職員・業者の感染対策

## 感染しないことが重要

COVID-19への対策として  
日常から“3密”を回避する

①換気の悪い  
**密閉空間**



②多数が集まる  
**密集場所**



③間近で会話や  
発声をする  
**密接場面**



# 高齢者施設への感染症持ち込み防止

## 職員や外部業者からの持ち込み防止



- ① 体調管理チェック
- ② 手指衛生の実施
- ③ サージカルマスクの装着

## 面会者からの持ち込み防止



- ① 体調チェック
- ② 面会制限もしくは禁止
- ③ 手指衛生の実施
- ④ サージカルマスクの装着

# 職員や外部業者の具体的な対策

必ず施設内へ入るときに体調を確認する

[入口で体温測定]

体温300℃以上で就業制限や入室禁止と決める

[どのような症状でトリアージ]

- ・咳
- ・呼吸困難
- ・強い倦怠感
- ・鼻水
- ・くしゃみ

※清生会吹田病院の例

- ・37.0以上の発熱で就業制限( ICTに相談 )
- ・風邪症状がある場合は、管理者へ報告

# 高齢者施設への感染症持ち込み防止

デイケア等の一時利用者からの持ち込み防止

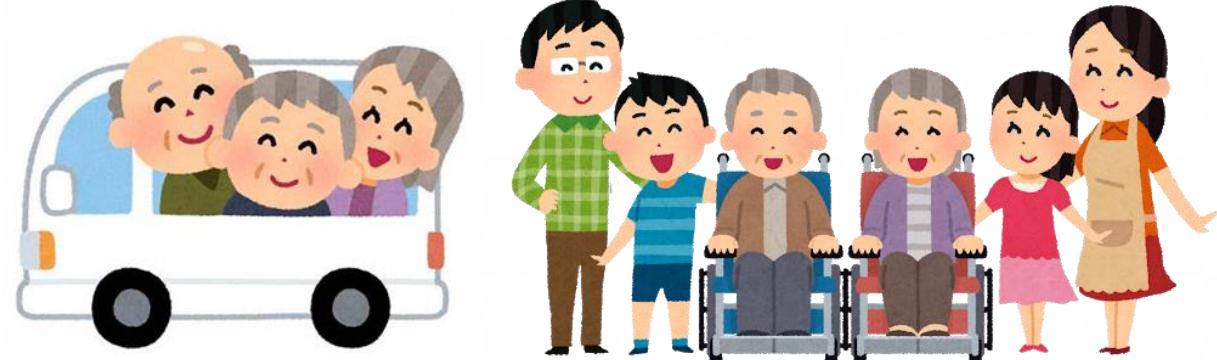
一時帰宅者からの持ち込み防止

① 利用者自身の体調チェック

② 帰宅時の行動確認→人が集まる所への外出

食事内容

③ 一緒に過ごしている家族の健康状態



# デイサービス利用者の具体的な対策

---

## 〔乗車前に体温測定〕

- ・ 体温3.00°C以上でサービス利用をお断りする
- ・ 測定者は、可能であれば職員が行う

## 〔体調確認〕

症状やいつもとの変化がないか確認する

# 感染症の早期発見

## 〔高齢者の特徴〕

- ① 免疫力が低下しているため症状が分かりにくい
- ② 症状が出たときは、重症化している

## 〔早期発見の対策〕

- ① 日頃から健康チェックを実践する
- ② いつもと違うな～と思うことが重要
- ③ おかしいなと思ったら、早めの対策を実施する

# 日常の観察ポイント

特に注意を 要する症状	要注意サイン
発熱	ぐったりしている、意識がない
嘔吐	突然の嘔吐、頻回の嘔吐、内容(性状)及び量、発熱の有無、下痢もある
下痢	血液が混じる、排便コントロール以外の下痢、性状及び回数、尿が少ない、口が乾く、皮膚がかさかさ
咳、咽頭痛、 鼻水	発熱、痰がからんだ咳、症状が長い
発疹(皮膚 の異常)	常に痒みがある、そして搔きむしる、皮膚の落屑が多い

# 利用者のチェックリスト

利用者の健康状態記録（例）

←

健康状態記録　日報

20 年 月 日

No.①

←



部屋番号 ↑	氏名 ↑	利用者 ↑	体温 ↑	嘔吐 ↑	下痢腹痛 ↑	咳 ↑	鼻水 ↑	クシャミ ↑	咽頭痛 ↑	倦怠感 ↑	発疹 ↑	その他 ↑	記録者 ↑	看護確認 ↑
例) ← ○△□×	35.4 ←		□ 有 ☑ 無 ←	□ 有 ☑ 無 ←	□ 有 ☑ 無 ←	□ 有 ☑ 無 ←	□有 ☑無 ←	□ 有 ☑ 無 ←	□ 有 ☑ 無 ←	□ 有 ☑ 無 ←	☑ 有 □ 無 ←	左の手に発疹とんネルあり ←	山田 ←	佐藤 ←
			□	□	□	□	□有	□	□	□	□	←	←	←